

＜集団討論課題（大学卒業程度・免許資格職（前期））＞

集団討論については、試験日の午前、午後(いずれか受験)ごとに以下の課題の中から1題を出題しました。

なお、課題については、グループ内で活発に議論を行っていただくため、様々な分野から出題しています。

- 全国ワーストといわれる熊本都市圏の慢性的な交通渋滞を緩和していくためには、どのような取組みが必要か、その原因を踏まえ、グループ内で討論してください。
- 近年、地方都市の商店街は「シャッター通り」が増え、賑わいを失いつつあります。商店街を活性化させていくためには、どのような取組みが効果的か、グループ内で討論してください。
- 本県では、結婚・子育て・介護など従業員の生活と仕事の充実を応援する「よかボス企業」や、働く人がいきいきと輝き安心して働き続けられる「ブライト企業」の認定を行っています。今後、こうした企業をさらに増やしていくためには、どのような取組みが効果的か、グループ内で討論してください。
- 本県は、豊かな自然の恵みを背景に、多彩な農林畜水産物が生産されています。全国でもトップレベルの農林畜水産物の生産をしっかりと継続し、さらには高付加価値化を通じた認知度向上や販路拡大するために、どのような取組みが必要か、グループ内で討論してください。
- 2023年県民アンケート調査結果報告書によると「地産地消に関心はあるが、県産品にはこだわらない」との回答が48.2%と、地産地消への関心と購買行動に乖離があることが分かりました。今後、県産品の地産地消を推進していくためには、どのような取組みが必要か、グループ内で討論してください。
- 料理の食べ残しや売れ残り、賞味期限切れ商品の廃棄など「食品ロス」が世界的に問題となっており、日本政府は2030年度に、2000年度と比較し、食品ロスを半減させる目標を掲げています。今後、食品ロスをさらに減らしていくためには、どのような取組みが必要か、グループ内で討論してください。

- 共働き家庭の増加や地域の繋がり希薄化等により、子どもたちが地域のコミュニティの中で育つことが難しくなっており、家庭における子育ての孤立化が懸念されています。子どもたちが安心して地域で育つ環境づくりを進めるために、どのような取組みが必要か、グループ内で討論してください。
- 本県は、災害に見舞われた経験を活かし、県民ひとりひとりが災害から身を守る行動をとれるよう備えておく必要性を訴えています。今後、大規模災害発生時に被害を最小限に抑えるため、県民に防災意識を根付かせるには、どのような取組みが必要か、グループ内で討論してください。
- 熊本県内への若者の定着を促すための施策や、若者の熊本への関心を高める方法について、グループ内で討論してください。
- 本県では、国指定の伝統工芸品である小代焼、天草陶磁器、肥後象がん、山鹿灯籠を始めとする素晴らしい伝統工芸品が受け継がれています。このような、県内各地の伝統に根ざした工芸品の認知度向上のために、どのような取組みが効果的か、グループ内で討論してください。
- 熊本県が持つ独自性や魅力を最大限に引き出すための、効果的な「地域ブランディング」とは何か、グループ内で討論してください。
- 本県では、令和4年の高齢者率が32.1%、県民の3.1人に1人以上が65歳以上の高齢者となっています。このような中、高齢者が健やかに暮らし、いきいきと活躍できる社会づくりのために、どのような取組みが必要か、グループ内で討論してください。
- 近年、映画・ドラマ・アニメなどの舞台となった土地を訪れる、いわゆる「聖地巡礼」を目的とした観光が全国各地で行われています。こうした行動を地域経済の発展等につなげるために、どのような取組みが効果的か、グループ内で討論してください。
- 本県は、平成29年から台湾の高雄市と友好交流協定を締結しており、これまでも様々な交流が行われてきましたが、世界的半導体製造企業の本県進出を契機に、今後さらに台湾とのビジネス客・観光客の往来が増加することが予想されます。そこで、県内への経済的波及効果を高めるために、どのような経済交流や人的交流が必要か、グループ内で討論してください。